

緑の風



2020年12月vol.24 (通巻75号)発行:緑が浜小学校P.G.T.

2020 運動会

10月29日(木)、素晴らしいお天気のもと、2020年の運動会が開かれました。

いつもと違う運動会。でも、いつものように一瞬一瞬子どもたちが輝いていた運動会。

1学年ごとに成長していく様子を垣間見られる機会でもあり、工夫して開催して下さった先生方、本当にありがとうございました。



6年生

表現セレモニー



旗に思いを込めて



最高学年の静寂



校庭いっぱいには舞う紅旗



体が覚えている、3年生で踊ったエイサー



あふれる情熱!

Active Run!!



一生懸命の背中にみんなが力をもらったよ!

Active Bal



駆け抜けた!最後の徒競走



ボールと一緒に JUMP!



たくさんボールをとるぞっ!

緑が浜小学校
大運動会



体温測定をお願いします

はじめての言葉は一年生

校長先生のお話

開会式

2020.10.29(木) 決行!

高学年準備体操

低学年準備体操

一着めざしてがんばるぞ

よーい、どんっ

「一列で玉入れ」ジャンプ!

2年生

心の声援が聞こえるよ

走れ!みどりっ子!!
みどりっ子 大集合

みどりっ子、大集合

まってね、今行くよ

ネットって、くぐりにくい

1年生

50m走
チェッコリ玉入れ

チェッコリ〜♪

がんばった後ろ姿!

ゴールまであと少し

走りきったよーっ

徒競走、わっく!わっく!

もうすぐゴール!

3年生

コーナー走ってラン・run・ラン
大玉ころかし

負けないぞ

たのしーっ!

勝ったぞー!イェーイ!!!

まてーっ

4年生

80m走
BANG! BANG! バルーン

風船くっ、逃げないで!

BANG!BANG! ヒゲダンス!

閉会式

今年は点数を競う
ことのない運動会
でした。

6年生のおわりの言葉

運動会後に授業があります

5年生

先生と走るのって楽しい!

MIDORINPIC 100
MIDORINPIC 2020

前から後ろからも応援が聞こえるよ

カッコいい!走りが高学年!

2

せんせっ!はやくはやくっ

日々の努力を見てください!

6年生・鎌倉見学

来たぜ、鎌倉! ~古都でのんびり...? いいえ、ハードで真剣なのです!!~

11月26日(木) 6年生は社会科の歴史学習の一環として、鎌倉見学に行ってきました。小人数グループをつくり、自分たちで行動計画を立て、計画に沿って活動することで自主性と協調性を育みます。

寺、神社、土産店と見どころが多くある鎌倉。行きたいところがたくさんありますが、昼食の集合場所と時間は決まっているし、15時には辻堂に帰らなくてははいけません。道に迷っても自分たちで解決しなくてはならないとあって、子どもたちは地図を片手に、常に早足で歩き回ります! しかも晴れの日々の昼食場所は源氏山公園とちょっとした登山! 切通しは難所です。自分たちの役割を果たしながら、安全の為に走らない、公共のマナーやエチケットを守る真剣な姿がありました。



電車でのマナーもばっちり



鎌倉の仏像で唯一国宝に指定



銭洗弁天で金運アップ



こんなところも登ります



鎌倉にいけないよかった!



たどり着いたよ〜!

事前学習では行きたい場所がありすぎてしぼるのが大変でしたし、無謀なルート作成に驚愕しました。しかし当日は、お天気も良く素敵な1日でした。鎌倉の雰囲気大いに味わい...、味わったような気がします!

6年1組 担任
はらだ かずし
原田 和司 先生

グループでテーマを決め、コースを考えました。たくさん行きたいという気持ちから、滞在時間を1分で設定するなど、決定するまでが大変でした。鎌倉駅に着いた後、グループでの約束事を再確認してから出発する姿があり、さすが6年生でした。コロナ対策の為に、全員検温をしましたが、元気いっぱい一安心でした。2万歩を歩いたので、私は次の日は筋肉痛で辛かったのですが、子どもたちはソーラン節を踊っていて、かなわないなと思いました。

6年2組 担任
むろた もえか
室田 萌香 先生



給食のひみつにせまる!

子どもたちが、毎日食べている給食。しかし意外とその実態を知らないものです。そこで今回は、そのひみつにせまるべく、学校栄養士の大西さんにお話を伺い、給食室で働く調理員さんに密着してみました。



出来上がったら、まず校長先生が給食をします。



Q 給食のメニューはどうやって決めているんですか?



学校栄養士 大西里沙さん

メニュー作りは、市内19校の小学校で当番制になっていて、まず当番の栄養士さんが基本のメニューを作ります。学校によってパンや麺など主食の日にちが違っているので、それを各学校で組み替えていきます。多少は変えられるので、例えば、カレー揚げと豚汁の組み合わせは濃いかな...と思う時は磯部揚げにしたり、そこはそれぞれの栄養士さんの好みがでますね。私は結構変えちゃいます。(笑) お魚は、半年に一回、茅ヶ崎市で半年分の購入量を決めています。種類や大きさまで細かく決めて、必ず購入する仕組みになっています。学校のお魚はおいしい!とってくれる子どもも多いので、保護者の皆さんにも、人気メニューの太刀魚や、かつおとジャガイモの味噌がらめを味わってみたいですね。

Q 緑小の給食はおいしい!と評判ですが、何か秘訣はありますか?



何でしょう。(笑) 嬉しいことに、先生方もそう言ってくれるんです! 残食が多い学校もある中、緑小はほほえないのも自慢です! 先生方が食育に力を入れてくださったたり、ガラス張りで見えるという効果は大きいと思います。例えば「最近ちょっと残食が増えたかな」と思うクラスがあると、先生にお願いして休み時間に見に来てもらうんです。見ながら説明してあげると残食が減るんですよ。10月1日のメニュー「お月見団子」も、見せながら4人で約2000個作りしました! あとは、見た目も大事なので、青物とか色見がきれいになるように、肉がだまにならないようになど調理方法は色々工夫しています。最終的な味の調整は私の味見で決まるので、各学校の栄養士さんによって少しずつ給食の味が違うかもしれませんね。



コンソメジュリエンヌ? ジュリエンヌは、フランス語で千切り。千切り野菜のスープです。

調理員さんに聞いてみました!

Q 調理の際に工夫していることなどありますか?



子どもたちが食べやすいように、野菜の切り方を工夫しています!

Q 調理をして大変なことはなんですか?



器具が大きくて重いことや、混ぜる時に量が多いので、腕が筋肉痛になります。

Q このお仕事をしていて、楽しいとか、嬉しいとか感じる瞬間はありますか?



みんなが美味しい!って言ってくれたら、大変なことは吹飛びます! 調理室を見に来てくれるのも嬉しいです。

350食分の 子どもたちに大人気! ちがさき秋カレーができるまで



秋カレーだけに、サツマイモや、ナス、きのこのなどの食材が到着。食中毒の証拠品として少しカットし、2週間冷凍保存。



使う器具は、毎日全部アルコール消毒。



4つのシンクで段階的に洗い、皮なども剥いた野菜を、手と機械を使ってカット。



バターや小麦、香辛料などを使い、ルーから作ります。



約40分かけて丁寧に、丁寧に炒めながら作られたルーには、美味しさ愛情が詰まっています!



「とにかく食べてもらいたい! という気持ちで味見しています。」と大西さん。



米+麦で、毎回25kg炊きます。大きなガスの炊飯器で炊き、機械でほぐします。



野菜を炒める。量が多く大変。



子どもたちの元に届く頃には、ちょうど食べやすい温度になっています。



各クラスごとに仕分けられ、子どもたちの元へ。

試食しました!



「甘味は砂糖でなく、リンゴでつけています。」というだけあって、優しい甘さで、とっても食べやすく、本当に美味しかったです!

小学生の 外国語 授業の今!

英語を学ぶって、どんなこと?

学校指導要領の改正により、2020年4月から全国の小学校で新しい外国語の授業がはじまりました。小学生から英語を習い始める子どもも多い中、「高学年で学ぶ英語」の役割や目的、先生の思いなど、外国語授業を受け持ってくださいの大内良季先生にお話を伺いました。

Q.1

学校指導要領の改正により、新しいスタイルでの授業が始まりましたが、大変だったことはありますか?

A 聞く・話す(やりとり)・話す(発表)・読む・書く、それぞれの評価をつけるのがなかなか大変です。

Q.3

保護者が子どもの英語学習をサポートできることはありますか?

A 英語への抵抗感をなくすために洋楽を聴いたり、身の回りの英語で書かれたものについて触れてみたりするだけでも、英語に対する姿勢が変わるので、ぜひ試していただきたいです。

Q.5

授業をしていて子どもたちが英語を難しく思うところ、時はどんなところですか?

A 英語と日本語の発音の仕方が違うところが、難しく感じているように見えます。フォニックス*を少しずつ取り入れて英語の音に慣れるように取り組んでいます。

*アルファベットの綴り字と発音との間にもつルールを学ぶことで、さまざまな単語や文章を正しく発音できるための教育法。

Q.2

高学年の2年間で具体的に、どこまで学ぶ事が目標ですか?

A それぞれ大切ですが、話す(発表)では自分のことについて、簡単な英語を使って発表できることを目標としています。

Q.4

楽しく英語を学び続けられる為に、心がけることを教えてください。

A 完璧を求めないことです。発音や話す内容を全部理解し、出来るようになってから話すのでは子どもも教えている大人も負担が大きいです。解るところから英語で話したり、書いたりすることが大切です。聞いたことを真似して話し、読んだことを真似して書くことから少しずつ発展させていくことを心がけています。

緑小の子どもたちはとても熱心で、集中して授業に取り組んでいるので、英語に関心を持てるように、楽しんで学べることを大切にしています。子どもたちは日本の将来を背負っています。その為に英語を学び続けて、英語を使い世界の人びととコミュニケーションをとって欲しいと願っています。

ALT アーリー・カワグチ先生からのメッセージ

緑小で外国語授業に携わる先生たち

- 3・4年生 外国語活動専科 根本 麗香先生、ALT アーリー・カワグチ先生
- 5・6年生 外国語専科 大内 良季先生、ALT アーリー・カワグチ先生
- 外国語教育支援員 二宮 裕子先生

二宮先生は、3年生から6年生の外国語活動、外国語科の授業計画を作ってくださいしています。

5年生 “can”の使い方



リスニング、耳を傾け集中

6年生 話す(発表)の授業



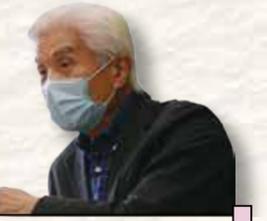
絵を交えながら日本のいいところを紹介

授業のふりかえり

外国語をどう学び習得していくのか以前に「母国語である日本語をきちんと学び、自分の気持ちや意見を外国語で伝えることができる喜びを知って欲しい」として、インプットとアウトプットの循環がないと、新しい言葉や表現が入りにくくなるので、覚えたらアウトプットすることがとても大切だということ。とくに保護者は授業の内容が見えないことが多いので、テストの点数や評価で判断しがちです。極端に言えばテストが0点でも授業で楽しく生き生きと英語を話そうとしている姿勢があれば満点をあげたいくらいです!とおっしゃっていました。

阪神・淡路大震災の体験談

10月23日(金)、元P.G.T.副会長の郷古 利彦さんが、4年生の子どもたちに阪神・淡路大震災の体験談を語る授業がありました。昨年は保護者向けに被災体験をお話して下さった郷古さん。今年はちょうど4年生が社会の授業で地震について学んでいるところで、子どもたちにとっては、実際に被災した体験談を聞く貴重な時間となりました。



郷古 利彦さん

あの日私が体験したこと

1995年1月17日午前5時46分。マグニチュード7.3、震度7の大地震が阪神淡路方面を襲いました。「最初はね、ドーンと20秒ぐらい縦に揺れ、振り回されたのだよ。天上が落ちてきて死んじゃうんじゃないかと思った」と郷古さん。揺れが収まり外に出ると、建物が倒壊していて、今まで見えなかった景色が見えました。そして、おばあさんと小さな女の子が震えているのが目に留まりました。「おじさん！つづれたお家にパパとママがいるの！助けて！」という女の子に、「助けられなくてごめんね」と涙したお話しに、子どもたちも静かに聞き入っていました。

パジャマ姿の人々、太い松の木が倒れて道路が封鎖され、商店街はめちゃくちゃ。何もできない自分に涙が出たそうです。家から300mぐらいのところにあった高速道路も倒れました。

もし茅ヶ崎で大地震が起きたらどうする？

大事なことは、まず家族で助け合うこと。そして隣近所や友だち。最後に公共インフラの支援です。地震は突然やってきます。お家の人と一緒に、避難時の食料、用意を相談してください。南海トラフ地震は近いうちに必ずきます。

先生！質問です！

子どもたちを育てるより、育てられている私

同じ目線での関わりを

今回は教員生活17年目、3年1組の担任・高津直子先生にお話を伺いました。

先生になろうと思ったきっかけは何ですか？
 大学卒業後、某洋菓子店の店長をやっていた時に人を育てる面白さに気がつきました。小学生の時に「先生になりたい」と思っていたこともあり、ドッジボールを子どもたちとやりたくて通信大学で教員免許を取りました。

どんな子ども時代でしたか？
 小学校時代は引込み思案。その後はバレーボール、ハンドボール、テニスなど、スポーツに打ち込む学生生活でした。

先生になってみて感じたこと、良かったことはありますか？
 育てるといふより、自分が子どもたちに育てられているのを感じました。上に立とうとすると子どもは離れていきます。同じ土台に立つことが大事だと思いました。

良かったことは、授業が終わった時「もう終わり？」と言われる瞬間です。良かったことは、授業が終わった時「もう終わり？」と言われる瞬間です。

最後に子どもたちに伝えたいことをお願いします！
 人生の岐路に立った時、あの時先生こんなこと言っていたなとか、こんな気持ちだったなと思出し、何か光を差せるような未来があるかと思っています。たくさん頭を動かして、考える力、想像力を働かせて欲しいです。

元店長さんだっただけあり、人を育てることに興味があったという高津先生。子どもたちそれぞれにもかける言葉や対応を変えているそうです。終始笑いの絶えないインタビュアーとなり、先生のお人柄がよく伝わってきました。お忙しい中ありがとうございました！



3年1組 担任 高津 直子先生

緑小の子どもたちは エネルギッシュですね

朝は ラジオ体操 してます！

趣味は 本を読むこと

茨城県 出身です！

交通安全教室 開催!!

子どもたちを見守る黄色い旗

10月6日(火)、快晴の空のもと、子ども安全ボランティア、みどりっ子見守り隊のみなさんを対象に、茅ヶ崎市・安全対策課による交通安全教室が開催されました。車、オートバイ、自転車や歩行者が多く行き交う中での登校。安全に誘導を行うための、大切なポイントをご指導いただきました。



子どもの視野は約120度。目線も低い

道路には危険がいっぱい！ 慌てないで誘導します

実際の道路で練習です

全校生徒の半数以上が 通る交差点はココ

安全対策課の方からのおねがい

横断歩道を渡る時は、必ず、そのゼブラゾーンの上を歩いてください

右左を見てから、手を挙げて渡ってください

『運転者から認識しやすいという事もありますが、子ども自身に〈自分で自分の命を守る〉という意識を持って欲しい。大人になり運転する側になっても、その意識は大切。今のうちから、大人に守られるだけでなく、自分で自分の身を守れるようになって欲しい。』とのことでした。ボランティアのみなさんの活動は、子どもたちを見守るだけでなく、安全を指導するという意味でも大変ありがたく、心強いものです。活動に参加できる方を随時募集しています!!



子どもたちの感想

- 「高速道路がこわれるほどの大きな地震だったことにびっくりした」 (K.Sくん)
- 「女の子が泣いていた時、郷古さんが声をかけたので優しいと思った」 (S.Iさん)
- 「いつ地震が起きてもいいように備えておこうと思った」 (S.Kくん)
- 「普段見えない景色が見えたのが怖かった」 (Y.Yさん)

郷古さんからのメッセージ

緑が浜小学校4年生のみなさんへ
 10月23日(金)の社会の授業で、私の『阪神・淡路大震災体験談』の大事なところをしっかりと聞いてくださり、みなさんからとてもすてきな「感想文」をいただきました。ありがとうございました。とてもうれしかったです。これからも勉強に遊びにしっかりとがんばってください。柴崎浩美先生、飯田福実先生、お声かけありがとうございました。

Q

どうして自慢したくなるのでしょうか？



みんな、自慢したこと、されたことがありますか？
 「これ〇〇円だった！」という「持ち物の金額」自慢とか、「〇〇を100個も持っている！」
 という、それホント？と聞き返したくなってしまうような「いっぱい持っている」自慢…。
 自慢話してするほうは気分がよくて、聞いているほうはあんまり嬉しくないと思
 うのだけど、どうかな？それなのに、なんで自慢をするのかな。

A

いいことがあった時、誰かが自慢している時、つい自分も言いたくなっちゃうけど、
 大きくなると自慢することも減ってくるよ。

例えばお出かけしたり、新しいものを買ってもらったり、そういう嬉しいことがあると
 友だちに「羨ましい」と思ってほしくてつい自慢しちゃう。
 それに、誰かの自慢を聞かされてばかりじゃ嫌な気持ちになるから、
 自分もそれよりもっと大きな自慢をしたくなっちゃう。
 そんな時は、一度考えてから話すとか、兄弟に話してみるとか。
 でも、3年生になった今は相手の気持ちも考えられるようになってあんまり言わなくなってきたし、
 自慢しない子がいると自分もしないように気をつけなきゃと思えるようになったよ。

どうして自慢するって？人間は不思議な生き物だからさ



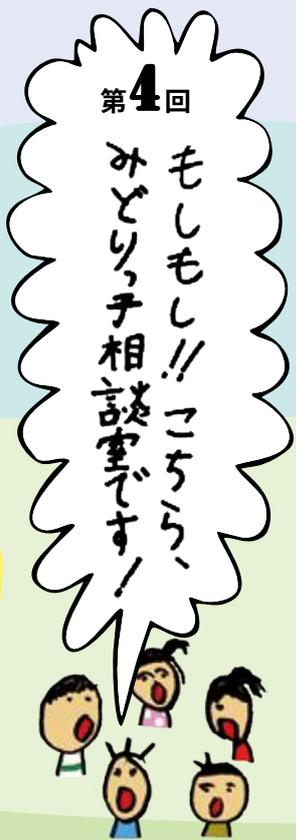
自慢されると、チツ！て思う



言いたくなったら赤ちゃんに言えば？言葉がわからないから



大人って自慢しないよね？！



相談員：3年1組、2組の有志のみなさん

びっくりするくらいたくさん3年生が集まって、みんなよく考えてくれて、自分の言葉でしっかりと丁寧に答えてくれました。
 大人っぽい意見も出て、みんなの成長にほっこりするひとときでした。3年1組、2組のみなさん、貴重な時間をありがとうございました！

編集後記



「奢らず、人と比べず、楽しんで、平気で生きれば
 いい」俳優の樹木希林さんが残した言葉です。
 自身を翻つてみると、果たしてそのようにできて
 いるのか甚だ疑問ではありますが、子どもたちには
 こうあってほしい。(あくまでも個人的な理想です)
 けれどそんな願いとは裏腹に、やれ「自分のほうが
 すごい」だの、やれ「こっちのほうが(金額が)高い」
 だのと不毛な自慢合戦を繰り広げ、優劣をつけたが
 る子どもたち。その会話を聞くたびに密かに心を痛
 めていた母の小さな悩みを、連載「もしもし!!こちうら
 みどりっ子相談室です!」で取り上げてもらいました。

今回協力してくれたのは3年生の子どもたち。
 1つのテーマについて膝を突き合わせて話をするな
 んて、わが子ともしたことがなかったけれど、取材
 に訪れた昼休みの20分間、とにかくみんな絶え間な
 く喋り続ける。子どもたちは誰が自慢しない子か知
 っているし、自慢をしない事を美点と捉えるセンス
 もあるし、「でも言いたくなっちゃうんだよ」とい
 う幼いなりのジレンマも含め、そこには個々の主張
 がちゃんとありました。具体的な名回答(珍回答?)
 は記事でお楽しみいただくとして、何でもいいので
 身近にあることをテーマに子どもと会話をしてみる
 こと、手軽だし、とにかく面白いし、オススメです。
 もしかすると意外な発見があるかもしれません。

さて、今号はいかがでしたでしょうか。お手元に
 届いた「緑の風」が、あわよくばみなさんのご家庭に
 楽しい会話の時間を運んでくれたら、こんなに嬉し
 いことはありません。

一緒に活動してくれるメンバー随時募集中!



大西 大西パパ 人見 吉竹 福原 宅見 和田 持田 山田 初鹿 大島 高橋 中嶋



学校のホームページで『緑の風』第1号から
 全て見るができます。是非ご覧ください!